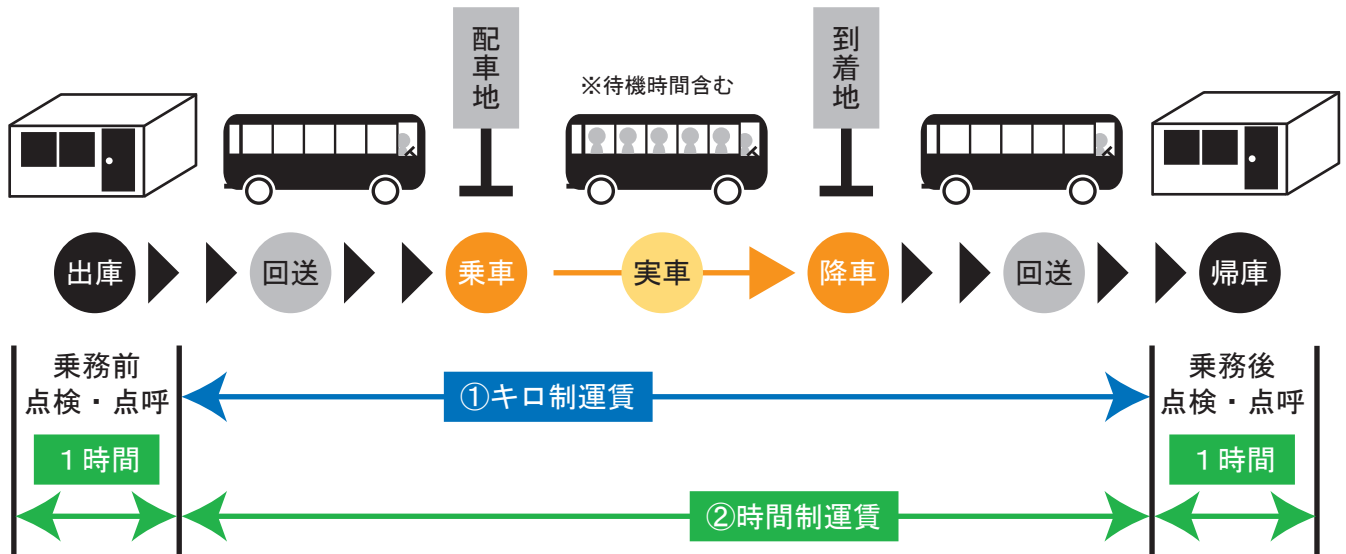


令和5年10月1日以降、公示運賃変更に伴い貸切バス料金が
10～20%ほど値上げとなります

貸切バス料金の算出方法

時間・キロ併用制運賃の考え方

回送距離・乗務前後点呼2時間も含まれます



時間・キロ併用制運賃の計算式

キロ制運賃と時間制運賃を合算して計算します

走行距離 × キロあたり運賃額
①キロ制運賃

走行時間 × 時間あたり運賃額
②時間制運賃

UP
公示運賃
値上げ

UP
公示運賃
値上げ

回送^{*}を含む総走行^{*}。10km未満は
10km単位に切り上げ

出庫帰庫点呼時2時間含め30分未満は
切り捨て、30分以上時間単位で切り上げ

《時間制運賃の最低保証》

最低運賃（3時間）を維持しつつ、
出庫前及び帰庫後の点検等の2時間分を
全ての運行に加算する

【3時間運行の場合】

5時間 × （時間単位）＝時間制運賃

【10時間運行の場合】

12時間 × （時間単位）＝時間制運賃

国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

関東運輸局プレスリリース

Press Release

令和5年8月25日
関東運輸局

新たな貸切バスの運賃・料金を公示します

令和5年6月に国土交通省にて開催された「貸切バス運賃・料金制度ワーキンググループ」フォローアップ会合（第10回）において、各地方運輸局が公示する貸切バスの運賃・料金を見直す方針が決定したことを受け、管内の貸切バスの新たな運賃・料金額（変更命令の検討を必要としない運賃・料金額）を令和5年8月25日付けで公示しました。

○ 運賃・料金を見直しの概要

現在の貸切バスの運賃・料金は、貸切バス事業者が適切に安全への投資を行えるようにすることを目的として平成26年に導入され、導入以降今日まで、人件費や燃料費等のコストが上昇していることから、これを運賃・料金に反映させ、さらなる安全への取組みを着実に実施できるよう、新たな貸切バスの運賃・料金を公示しました。

また、現在貸切バス事業者は、1時間当たり及び1km当りの単価の上限額と下限額を国に届け出ていますが、貸切バス事業者の創意工夫によって高付加価値なサービスを提供することも可能となるよう、上限額の届出を不要とすることとしました。

これまでと同じ運行内容の貸切バス代から
10～20%ほど値上げとなります

○令和5年6月 料金を見直す方針が決定
○令和5年8月25日付 新運賃・料金額公示
○令和5年10月1日～ 新運賃・料金適用

新運賃：下限額

＜キロ制運賃：下限額＞

○大型 160円

○中型 140円

○マイクロ 120円

＜時間制運賃：下限額＞

○大型 6,580円

○中型 5,560円

○マイクロ 4,770円

旧運賃：下限額

＜キロ制運賃：下限額＞

○大型 120円

○中型 100円

○マイクロ 80円

＜時間制運賃：下限額＞

○大型 5,310円

○中型 4,490円

○マイクロ 3,850円

UP
公示運賃
値上げ

EIA ENVIRONMENT
TECHNOLOGY
ASSOCIATES

イー・ティー・エー株式会社 深谷営業所